JAFXボーツWEB

2019年JAF全日本ラリー選手権第2戦 2019年JAF中部・近畿ラリー選手権第1戦 2019年JMRC中部ラリーチャンピオンシリーズ第1戦 新城ラリー2019 Supported by AICELLO [JAF公認No.2019-2301]

開催日:3月15~17日 開催場所:愛知 格式:国内 主催:MASC「クラブ登録No.加盟23011]

フォト/中島正義、水野文幸、山口貴利、JAFスポーツ編集部 レポート/ JAFスポーツ編集部



こ数年、最終戦決戦の舞台として定 着していた新城ラリーが、今年は本 ┛ 格的なシリーズインを告げる第2戦 として開催された。

実質的には約4カ月という短いインターバル を置いての開催だが、この間、全日本ラリー選 手権はクラス分けなど大きな変更があった。ク ラス数こそ6クラスと変更はないが、新たな

JN5&JN6クラス/1. JN5クラスは雁峰で大量リードを築 いた天野智之/井上裕紀子組が早くも2勝め獲得。2. JN5で 2位入賞は今季初参戦の岡田孝一/廣田幸子組。3. LEG1を 2位で上がったJN6板倉麻美/蔭山恵組は3位でフィニッ シュ。4.中部の若手、佐藤光理/松井弘成組がJN5で3位に 入った。5. JN6で女子勢最上位の2位に入ったいとうりな/ 大西紗智組。6. JN6大倉聡/豊田耕司組も雁峰でのマージン が効いて圧勝した

JN6クラスは開墓戦ではCVT車両を駆ったラ リー女子達が全日本ラリーデビューを果たし、 大きな話題を呼んだ。

昨年は同じクラスを戦った86/BRZと ZC33Sスイフトスポーツが袂を分かつことに なったのも今年の大きな特長で、86/BRZの事 実上のワンメイククラスとなったJN3クラス は4名ものチャンプ経験者が集う注目のクラス となった。

今年の新城ラリーは雁峰、鬼久保というお馴 染みのステージと、サービス、ショートSSの 舞台となる県営新城公園の3つに集約したコン パクトなラリーとなったが、雁峰は土曜LEG1 は雁峰北、日曜LEG2は雁峰西と、性格は近 似するもコースは一切重ならない、ふたつのス テージに分けられた。

注目のJN3クラスでまず飛び出したのは SS2雁峰北をぶっちぎった山口清司/竹原静 香組86。続くSS3鬼久保ではこのステージを 得意とする山本悠太/山本磨美組86が順調に ベストを奪い、この2台が頭ひとつ抜け出す。

2度めの雁峰北となったSS5では、山口組 が4秒、タイムを落としたのに対して山本組は 8秒近くタイムアップしてベストを奪取。この タイムが効いた山本組は0.9秒の僅差ながら山 口組を2位に従えてLEG1を折り返した。

最終日LEG2でも山本組の速さは衰えず、 SS8雁峰西では山口組を10秒差で下す今大会













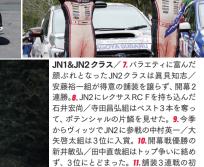




























渋の一戦となった山本悠太選手だが、今季初登場 の一戦で快走を披露し、激戦区JN3を制した。 15.接戦の末、2位にとどまった山口清司/竹原静 香組。「あんなペースで走った雁峰は今までな かった(笑)。クルマのバランスが良くなったので 次も狙いたい」。16. ZC33S乗り換え組の内藤学武 /小藤桂一組はその初戦を2位で終えた。17.昨年 の新城でも速さを見せた西川真太郎/本橋貴司 組は3位でフィニッシュ。18.昨年のJN4チャンプ、 長崎雅志/秋田典昭組はJN3の初戦で3位獲得。 19.20. JN4は「最初からプッシュした」高橋悟志/ 美野友紀組が新城2連勝。「オフにテストして足 を見直して安定感が出てきた。予想以上のタイム です」と会心の走りを見せた。

4度めのベスト。続くSS9鬼久保では山口組 が0.6秒差で食らいつくも、最後までハイペー スを維持した山本組が2日間ともDAYベスト の快走で逃げ切った。

昨年の新城では86/BRZ勢最速のタイムで 終えるもスイフトの前に敗れ、タイトルを逸し た山本選手は、「リベンジ達成、ですかねぇ (笑)。あまり好きじゃない雁峰でタイムが出せ たのは、今までとは全然違う、いい路面だった ので、タイヤと路面を信じて、コーナーの中間 から踏み切って曲がれたからだと思います」と 勝因を自己分析した。

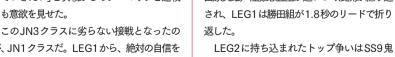
総合でも2WD最速の5番手タイムでフィニ ッシュしたが、山口選手も6番手でラリーを終

えただけに、このク ラスのハイレベルを 印象付けた。「最初 から全開で行って、 これくらいのペース で走り続けないと勝 てないクラスになっ ちゃいましたね (笑)。得意のグラベ ルの前にできるだけ 舗装でポイントを稼

いでいきたい」と次戦からのターマック2連戦 にも意欲を見せた。

が、JN1クラスだ。LEG1から、絶対の自信を 持つ雁峰で引き離しにかかる勝田範彦/石田裕 一組を、これまた鬼久保で無敵の速さを誇る奴

真組。23.同DE-5優勝の中井育真/山田真記子組。24.同DE-6優勝の国沢光宏/梶浦僚組。 25. OP-1優勝の大橋渡/緒方和良組。26. OP-2は齋藤伸司/石田昌孝組が優勝した。 田原文雄/佐藤忠宜組が追いつく展開が繰り返



21.中部・近畿地区戦 DE-1 優勝の豊田信寿/千崎浩一組。22.同 DE-2 優勝の廣嶋浩/廣嶋

久保で5.5秒、勝田組を凌いだ奴田原組が遂に 首位に立つが、最後の雁峰となったSS11雁峰 西で勝田組が奴田原組をキロ1秒突き放す圧巻 のベストを叩き出して勝負を決め、今季初優勝 を飾った。LEG1ではトップ2台に食らいつい た新井敏弘/田中直哉組が3位に入っている。

今回の新城ラリー JN1 クラスの激戦の模様は、「SPECIAL EDITION 雁峰決戦~勝田 vs 奴田 原~」として配信中ですので、是非ご覧ください。

http://jaf-sports.jp/shinshiro-rally/